

群馬菱の実会だより (No. 67)

第13回 秋の親睦旅行

行ってきました！

飛騨古川・五箇山合掌集落の旅

菱の実会発足以来、毎年続けてきたメイン行事の親睦旅行も13回目を迎え、今年
は10月27・28日「飛騨古川・五箇山合掌集落の旅」に行ってきました。

参加は会員36名、会社・事務局から3名の合計39名でした。

今回は、今までの旅行に比べ距離が長いので、例年よりも早い朝7時30分の出発の予定でしたが、早い人は組合事務所を開けた午前6時50分には、すでに入口で待機している参加者もいました。

バスの中では、久しぶりに会った会員も多く、世間話や互いの身の回りのことで話が弾み、賑やかなひとときを過ごしました。



各地の見学などを終え、今夜の宿泊予定「かんぼの宿 越中庄川峡」へ向う途中でちょっとしたアクシデントが起きました(?)。

飛騨古川のまつり会館を見学後、道順を確認すべく、ガイドさんが駐車場係の人に「しょうがわ(庄川峡のつもりで…)はどちらでしょうか」と訪ねたら「しょうがわ(荘川町があったんです)は、あちらへ」と教えてもらった方向が、なんと庄川峡とは逆の方向でした。(しゃべり言葉と、書き言葉の差デシタ)

結局、宿への到着は1時間近くも遅れ、その後の入浴そして宴会は急ピッチで進行せざるを得ませんでした。



でも翌朝はもうスッキリ(上の記念写真を、目を凝らして見るとみんながすがすがしい顔をしているのがわかります?)、400年の歴史を持つ合掌づくり集落などを見学後、帰りは北陸道、関越道と高速自動車道を利用し、全員無事に到着、また来年の旅行での再会を誓い合い、それぞれ帰路につきました。